

笠北だより

平成29年 11月10日 第22号

○児童・職員・保護者がともに成長する学校

○互いの違いや個性を尊重し、力を合わせて成長する学校

○自他の間違いや失敗を認め合い、成長へと結びつける学校

全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします（2）

児童質問紙

基本的な生活習慣が身についている児童や学習に対してまじめに取り組んでいる児童が比較的多いといえます。やや主体性に欠ける面が見られますが、指示されたことはしっかり行うことができ、物事に前向きに取り組むことができる児童が多いといえます。

全国平均を上回っている質問の一部

- 項目 昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館に毎週行きますか。
- 項目 今までの授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか。
- 項目 算数の勉強は好きですか。
- 項目 算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。
- 項目 将来の夢や希望をもっていますか。

課題として取り組んでいく問題

- 項目 自分には、よいところがあると思いますか。
- 項目 友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。
- 項目 算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。
- 項目 今住んでいる地域の行事に参加していますか。
- 項目 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか。
- 項目 地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか。
- 項目 学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか。
- 項目 自分の考えを発表する機会では、自分の考えが伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか。

【生活指導に関する対策】

- 毎日の活動で、自己肯定感が高められるような手立てを工夫して取り入れていくようにします。例えば、学年行事や係、委員会の仕事の中で、自分の責任を果たす場面を設定したり、自分の考えを発表したりする場面を多く設定します。
- 学校での宿題には取り組むが、授業の復習や自分で計画を立てて勉強する児童の割合が低いといえます。『家庭学習のてびき』を使って、望ましい家庭学習の方法等について具体的に指導するなど、自ら進んで家庭学習に取り組めるように学年に応じた指導を行っていきます。
- テレビやビデオを見る時間、テレビゲームや携帯電話、スマートフォンを使っている時間を減らせるように、中学校とも連携しながらアウトメディアの取組を行います。
- 笠北小では、「おやじクラブ」という団体が、年間を通じて、学校では学べないことや経験できないことを計画・実施してくれています。また、笠北小の地域やみどり市には、児童の参加できる行事がたくさんありますので、子どもたちに紹介していきます。

図工・美術・理科自由研究作品展 11月17日～21日

みどり市小中学校の作品展が、笠懸公民館1階「ふるさとギャラリー」およびロビーで行われます。時間は、午前9時から午後10時までですが、日曜日は午後5時までです。20日の月曜日は休館日ですので、お気をつけください。